

ごみ分別の前に… ごみを減らす方法を考えてみませんか

私たちは、豊かな生活をするために、地球のあらゆる資源を使い、一方で多くのごみを生み出しています。未来に美しい地球環境を残すため、ものを大切にすることでごみを出さないようにしたり、繰り返し何度も使うことなどにより、ごみとなるものを減らして、資源の消費を抑え、環境に負荷をかけない生活をする必要があります。自分たちの生活の中で、身近なところからごみを減らす方法を考えてみませんか!

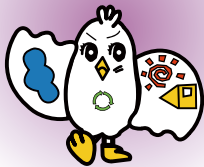
ごみを減らすためのキーワード……

3R

発生抑制

Reduce

(リデュース)



【ごみを出さない工夫】

ごみになるものを買わない、不要になるものは受け取らないなどにより、ごみの発生そのものを抑えます。

再利用

Reuse

(リユース)



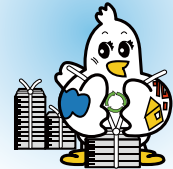
【繰り返し使用する】

一度使用したものをすぐに捨てるのではなく、そのまま何度も使用します。

再生利用

Recycle

(リサイクル)



【資源として利用する】

不要になったものに手を加え、再び原材料として利用します。リサイクルするためには、正しい分別が重要になります。

高

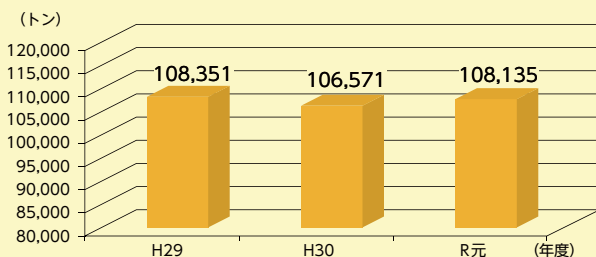
3Rの優先順位

低

いわき市のごみの現状

いわき市の焼却ごみは近年増加傾向にあり、その処理費用は年間で約49億円かかっています。皆様一人ひとりの適正な分別により、ごみを資源に変えましょう!

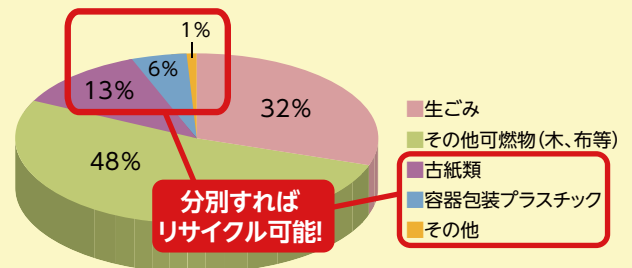
いわき市の「燃やすごみ」の量



※H23.1月～「製品プラスチック」及び「その他の紙」を資源物として分別収集開始

焼却ごみの処理費用は年間で約49億円 (R元年度実績)

家庭から排出される「燃やすごみ」の内訳 (重量割合)



分別すれば
リサイクル可能!

燃やすごみの中には古紙類13%、容器包装プラスチック6%など、リサイクルできるものがまだ多く含まれています。また、約3割を占める生ごみは、その80%が水分といわれています。生ごみはしっかり水切りをしてから出すことで、量が減り、ごみ出しも楽になります。